



通学路の安全対策は万全か

通学路の整備状況は

松竹 秀樹 議員

答 十分な状況ではないと認識

問 市内の通学路の歩道整備状況はどうか。

市長 総延長91kmのうち、歩道が整備されているのは32km、36%である。道路管理者ごとに国道では95%、県道は68%、市道は20%となっている。

問 通学路の認定要件、また自治体の安全対策に対し、国の財政支援の具体的な内容は。

学校教育課長 児童がより安全に登下校できる道路区間を毎年度、大体1

学期が始まる前などに学校とPTA、保護者が協議し、指定された道路区間を通学路と位置づけている。

道路・水路課長 財政支援については、社会資本整備総合交付金の交通安全事業というメニューの中で取り組んでいる。

問 通学路以外の所を通っている児童への指導、周知はどうか。

学校教育課長 通学路を変更した場合、下校時などに児童と先生と一緒に通学路を歩いて、安全指導計画を策定。交通安全教室を開き、集団登下校の仕方の指導や交通安全指導の中で交通ルールを守ることを、事故に遭わな

ための指導など行っている。

通学路の安全対策は

安全対策は

7月の災害後、復旧に時間を要している「恋ぼたる温泉館」

大赤字の「恋ぼたる温泉館」認識は

弥吉治一郎 議員

答 あくまで観光資源として建設

問 恋ぼたる温泉館は4億6,000万円の税金で建設された。建設費は1円も回収できないどころか、年間の維持管理費用も入湯収入では賄えない。税金のムダ使いだ。建設を決定した時の赤字予測はいくらだったのか。

市長 観光資源として建設したもので、温泉館の利益で建設費を回収するなどの意味で建設した施設ではない。

赤字予測
1,300万円が
4,000万円に

商工観光課長 計画時の年間収入は3,800万円、経費が5,100万円、差引き1,300万円の赤字と予測していた。

敬老祝金を復活させよ

復活させよ

問 建設時の赤字予測1,300万円は拡大している。ガス代や水道料金、これに利用者の落ち込み

が加わり年間の赤字は4,000万円。1年にこれだけの税金を使って温泉館をやってくれという市民はいない。温泉館の赤字は

字補てんのためにこれ以上税金のムダ使いはせず、敬老祝金を復活すべき。

市長 赤字が増えたのは、源泉に水道水を加えてから加温せざるを得ないため、ガス、水道代が高くなった。祝金を上げるという話は理解できるが、温泉館は市が作った施設なので、これからも運営

している。



7月の災害後、復旧に時間を要している「恋ぼたる温泉館」